

新しい仲間の 運動の入り口として

「2020年度」新入組合員歓迎学習会を開催



▲練習とおりに「頑張ろう」できるかな

4月15日(土) 17時30分からSKホールにて「2020年度新入組合員歓迎学習会」を開催しました。当日は足元の悪い中、多くの新入組合員に参加していただきました。

本来であれば、昨年の4月に、この新入組合員歓迎学習会をお酒も入れながら「歓迎学習交流会」として実施したかったのですが、政府から緊急事態宣言が発令され、懇親会どころ

が、改めて開催しました。学習会は東京清掃本部青年部の高野部長から、共済活動のガイダンスは自治労共済東京支部の島田さんに行っていたきました。新入組合員の存在は職場の活性化に繋がり、次代を担う若手の存在は非常に心強く、まさに、組織強化に直結すると言えます。本日、学んだことを今後の活動に活かして頂けたらと思っています。

(栗澤 紀和)



▲中執からは様々な意見が出された

4月15日(土) 9時から、SKホールにて車付雇上の問題について学習会を開催しました。講師には都本部

染委員長にお越しいただきました。この間の中央執行委員会でも度々意見があり、契約書は「廃棄物運搬請負契約」となっていることから、「偽装請負に

て、大きな議論となっていました。ご存じのとおり、本来は臨時的な扱いである、この「車付雇上」を年間作業計画で恒常的に活用するばかりか、現在では、曜日配車として数多く配車がされてきています。このことが、年末年始期間の車両不足に大きな影響を与えてい

ます。今回は、歴史的な経緯も含めて、詳細に触れていたが、我われとしても、再度学習していくうえで、

(泉田 和明)

4月15日(土) 17時30分からSKホールにて「2020年度新入組合員歓迎学習会」を開催しました。当日は足元の悪い中、多くの新入組合員に参加していただきました。

本来であれば、昨年の4月に、この新入組合員歓迎学習会をお酒も入れながら「歓迎学習交流会」として実施したかったのですが、政府から緊急事態宣言が発令され、懇親会どころ

が、改めて開催しました。学習会は東京清掃本部青年部の高野部長から、共済活動のガイダンスは自治労共済東京支部の島田さんに行っていたきました。新入組合員の存在は職場の活性化に繋がり、次代を担う若手の存在は非常に心強く、まさに、組織強化に直結すると言えます。本日、学んだことを今後の活動に活かして頂けたらと思っています。

(栗澤 紀和)



▲まずは、高野部長からお手本を

4月15日(土) 9時から、SKホールにて車付雇上の問題について学習会を開催しました。講師には都本部

染委員長にお越しいただきました。この間の中央執行委員会でも度々意見があり、契約書は「廃棄物運搬請負契約」となっていることから、「偽装請負に

て、大きな議論となっていました。ご存じのとおり、本来は臨時的な扱いである、この「車付雇上」を年間作業計画で恒常的に活用するばかりか、現在では、曜日配車として数多く配車がされてきています。このことが、年末年始期間の車両不足に大きな影響を与えてい

ます。今回は、歴史的な経緯も含めて、詳細に触れていたが、我われとしても、再度学習していくうえで、

(泉田 和明)



▲各区で責任をもった清掃事業の確立を

▼沖縄県民は、米軍基地があるから雇用や生活が成り立っているとかよく耳にするが、現実はどうなのか？私が現地でタクシー運転手や飲食店で実際に聞いた話だと、仕方なく米軍相手の商売をしている、酔っ払いの米兵に暴力を振るわれたり、会計を支払ってもらえなかったり、銃まで向けられたこともあったそう

で、もの凄く屈辱的だと語っていた。

▼それでも、米軍がいなくて生活が出来ない。なぜか分かりますか？この国は沖縄に対してそれしか生活する手段を与えてこなかったからです。この状況は、未だに戦時下にあると言わざるを得ない。

(墨田区担当中執 長妻 芳典)

間働けは暮らせ



▲議長の大任を果たしたわが組合の江森委員長

例年通りの開催が危ぶまれていた「第92回日比谷メーデー」の取り組みですが、4月26日に開催された第4回実行委員会で、無観客・オンライン開催の判断がなされました。ギリギリまで、感染対策を踏まえた実現を追求してきた実行委員会に敬意を表します。無観客となりましたが、わが組合からは式典には、議長に江森委員長が登壇し、組織代表や警備も含めて四役で参加してきました。

東京清掃としては、グッズを含め準備をしていただけない、一般組合員は参加できず、2年連続での行進なしは残念極まりありません。楽しみにしていた組合員も多かったと思います。

本来であれば、会場を割ればかりに埋め尽くす労働者・市民が結集するのですが、誰もいない空席だけが目立つという寂しい現実

でした。来年こそは、式典はフル開催で鍛冶橋コースを胸張って、スカイプールの作業着に身を包み、力強く元気にシュプレヒコールを発生しながら、参加者全員での行進を願うばかりです。

(渡辺 歩)

今年も例年通りの取り組みを断念 第92回日比谷メーデー



▲労働者の怒りをこれからの団結に

すべては「地域住民のために」 質の高い公共サービスの実現にむけて

2021全国現業・公企統一闘争総決起集会にweb参加



▲熱弁をふるう自治労本部小迫現業局長

2021現業・公企統一闘争総決起集会が4月25日(日)にリモートで開催がされ、コロナ禍を踏まえwebにて参加をしてきました。

現在わが組合が取組んでいる、制度・政策要求はすべて、地域住民の福祉向上、さらには、現場力の回復による質の高い公共サービスを確立するためであります。

かつての先輩方は、さまざまな合理化圧力に対し、真っ向から闘い、賃金・労働条件はもとより、住民福祉の向上や質の高い公共サービスの

確立に取組んできました。公共サービスの危機的状況である現在、今度は我われ自身がこれまでの政策に対する怒りを力に変え、全国の仲間とともに闘うべきです。本日、現業評議会として、このまま引き下がる訳にはいかないことを全体で確認しました。

全国すべての単組・組合員が結集してこそ全国統一闘争です。わが組合としても、今こそ、全国統一闘争に結集し、組織全体で成果を勝ち取るため、現業・公企統一闘争を自治労産別闘争として闘い抜こうではありませんか。(渡辺 歩)

《ひとこと》

▼連日の報道により、コロナのワクチン接種やオリンピックの開催について取り沙汰されているが、私は5月のこの時期必ず沖縄について考える。1972年5月15日に沖縄は日本に返還され、今年で49年を迎える。返還？現状はどうだろうか？▼日本における米軍基地の75%を抱え、県面積の20%が米軍基地である沖縄。戦闘機による騒音妨害に日夜悩まされ、少女達は性犯罪の恐怖に怯えながらの生活。祖国復帰が夢物語に過ぎないのが現実だ。